

安定・効率輸送協議会開催の背景及び目的

1. 背景

内航海運は、荷主-オペレーター-オーナーの専属化・系列化が固定化している業界構造となっている。

今後、大宗貨物である産業基礎物資の輸送需要が低下傾向となる中、将来にわたる船員の確保・育成や船舶建造を持続的・安定的に行うためには内航海運事業者単独の取組には限界がある。

こうした状況の下、「内航未来創造プラン」(平成29年6月とりまとめ)において、荷主企業、内航海運事業者の間での課題の共有・意思疎通等の連携を一層強化していくことが必要であるとされたところ。

このため、荷主企業、内航海運事業者、行政等の中でテーマごとの対応等に係る意見交換、課題の共有等の連携を一層強化していくことが必要。

2. 目的

内航海運における持続的・安定的な船員の確保・育成、老朽船の代替、労働環境改善、荷役作業軽減、安全運航の確保、燃料高騰の際の対応等に係る意見交換、課題の共有等を図る。